

令和4年度 学校アンケート結果について

(4点満点)

質問項目			集計結果		
児童	保護者	職員	児童	保護者	職員
①授業は楽しく分かりやすい。	①お子さんは、学習した内容が分かっている。	①本校の児童は基礎的・基本的な学力が身に付いている。	3.5	3.3	3.7
②友達や先生の話をよく聞いて、協力して学習に取り組んでいる。	②お子さんは、話をよく聞き、自分の思いや考えを話すことができる。	②本校の児童は、教師や友達の話をよく聞き、協力して学習に取り組むことができる。	3.5	3.1	3.6
③家庭学習に計画的に取り組んでいる。	③お子さんは、時間を決めて家庭学習をする習慣が身に付いている。	③本校の児童は、家庭学習に計画的に取り組んでいる。	3.3	2.9	3.4
④自分のめあてにむかってがんばっている。	④お子さんは、自分のめあてにむかってがんばっている。	④本校の児童は、自分のめあてにむかってがんばることができる。	3.5	3.1	3.6
⑤朝の読書にしっかりと取り組み、図書室を積極的に利用している。	⑤お子さんは、休日など、読書をしている。	⑤本校の児童は、よい読書習慣が身に付いている。	3.1	2.4	3.5
⑥「よいこのきまり」を守って生活している。	⑥お子さんは、くつのかかとをつぶさないでいたりくつやスリッパなどのかかとをきちんとそろえている。	⑥本校の児童は、「よいこのきまり」を守る習慣が身に付いている。	3.4	3.0	3.4
⑦早寝、早起き、朝ごはんに取り組んでいる。	⑦お子さんは、早寝、早起き、朝ごはんを心掛けている。	⑦本校の児童は、早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身に付いている。	3.3	3.3	3.5
⑧清掃の時間は、最後までいっしょうけぬい取り組んでいる。	⑧お子さんは、身の回りの整理や掃除を進んでしている。	⑧本校の児童は、清掃活動に進んで取り組んでいる。	3.7	2.6	3.7
⑨係活動や当番活動、児童会活動に進んで取り組んでいる。	⑨お子さんは、家庭でのお手伝いを進んでしている。	⑨本校の児童は、係活動や当番活動、委員会活動に進んで取り組んでいる。	3.6	3.0	3.8
⑩学校行事に進んで取り組んでいる。	⑩お子さんは、学校の行事を楽しみにしている。	⑩本校の児童は、学校行事に進んで取り組んでいる。	3.6	3.7	4.0
⑪いつでも、気持ちのよいあいさつをしている。	⑪お子さんは、いつでも気持ちのよいあいさつができる。	⑪本校の児童は、適切なあいさつの習慣が身に付いている。	3.4	3.1	3.1
⑫先生や目上の人などに正しい言葉づかいができる。	⑫お子さんは、親や目上の人などに正しい言葉遣いができる。	⑫本校の児童は、目上の人に対する正しい言葉遣いができる。	3.6	3.0	3.3
⑬自分の健康に気をつけ、病気やケガのない生活を心がけている。	⑬お子さんは、自分の健康に気をつけ、病気やケガのない生活を心がけている。	⑬本校の児童は、健康に気をつけ、衛生的で安全な生活習慣が身に付いている。	3.6	3.1	3.5
⑭交通ルールを守り、安全に登下校している。	⑭お子さんは、交通ルールを守って安全に生活している。	⑭本校の児童は、登下校時や放課後、交通ルールを守っている。	3.8	3.5	3.4

質 問 項 目			集 計 結 果		
児童	保護者	職員	児童	保護者	職員
⑮食事のマナーを守って、好き嫌いなく、決められた時間内に食事をとっている。	⑮お子さんは、食事のマナーを守って、好き嫌いなく食事をしている。	⑮本校の児童は、給食時のマナーを守り、好き嫌いなく、時間を守って食事をとっている。	3.4	2.9	3.2
⑯先生は話を聞いてくれる。	⑯教員は、子供のことについて適切に相談に応じてくれる。	⑯自分は教育相談はもとより常日頃から一人一人と話す機会を設け児童理解を深めたり問題行動に迅速に対応したりしている	3.7	3.6	3.6
⑰先生は、自分が努力したことを認めてくれ、がんばるよう励ましてくれる。	⑰教員は、子供の努力したことを認め、励ましてくれる。	⑰自分は、常日頃から子どもの努力したことを認めたり褒めたりし、今後につながるよう支援している。	3.7	3.7	3.6
⑱先生は、人として大切なことを教えている。	⑱教員は、人として大切なことを教えてくれる。	⑱自分は、将来のことを見据えた人として大切なことを子供たちに対し指導している。	3.8	3.5	3.6
⑲家の人に学校のことを話している。	⑲お子さんは、学校の出来事をよく話してくれる。	⑲自分は、子供のよさを積極的に認め児童との信頼関係構築を築けている	3.4	3.5	3.7
⑳学校へ行くのが楽しい。	⑳お子さんは、学校に楽しく通っている。	⑳本校の児童は、学校に楽しく通っている。	3.4	3.7	3.5
㉑小学生と中学生と一緒に活動したり、学習することは楽しい。	㉑学校は小中一貫教育を推進している。(小中連携活動や学び合いなど)	㉑本校は小中一貫教育を推進している。(小中連携や学び合いなど)	3.3	3.0	3.6
㉒地域の人たちと一緒に活動したり教えてもらうことは役に立つ。	㉒学校は地域と連携した教育を行っている。	㉒本校は地域と連携した教育を行っている。	3.6	3.4	3.8

【考察】

- ① 児童の質問項目は「授業は楽しくわかりやすい」です。教職員の評価は高くなりましたが、児童の「あまりそう思わない」「そう思わない」が全体の7%いることをふまえ、授業の楽しさ・わかりやすさをさらに児童の結果につなげられるよう努力してまいります。
- ② 本校では『主体的・対話的で深い学び』の実現する授業を目指して」を学校課題とし子どもたちが自分の考えと互いの考えを出し合い、それらを伝え合いながら協働的に学び合うことで、学びがより広がり深まっていくことをねらいとして授業を行ってきました。その取組や日々の授業から、児童、教職員では評価が高くなっていると考えます。
- ③ 児童、教職員ともに、昨年度から数値が高くなりました。自主学習への各自の取組への継続指導や小中一貫で実施してきた「家庭学習協調週間」などの取組の継続が習慣化に結びついてきていると考えます。
- ④ 学校では、学校生活や各行事など、各自のめあてを持たせ児童が主体的に取り組めるよう働きかけをしています。その頑張りを家庭にも伝える方法について改善を図っていきたいと思います。
- ⑤ 保護者の評価が低い結果となりました。この傾向は中学校区でも同様となっています。学校では、読書の時間を位置付けているため、教職員の評価は高く出ています。読書の良さや必要性などについて学校で指導したり、小中一貫での「家読」の取組を継続したりしてまいります。保護者の皆様のご協力も引き続きお願いいたします。
- ⑥ 児童は、きまりを守り落ち着いた学校生活を送っており、教職員の数値が高くなりました。今後もきまりを守れなかった場合にはきちんとした指導をし、児童が自分の行いを反省する機会をつくりながら、規範意識を育てていきたいと思います。
- ⑦ 三者とも同じような傾向を示しています。子どもの生活を支える大切な習慣です。全体の数値が上がるよう、食育(給食指導を含む)を継続していきます。ご家庭での働きかけが必要なことにもなりますので、ご協力をお願いいたします。

- ⑧ 児童の数値が昨年より少し下がりました。コロナ禍の対応として、本年度は通常の縦割清掃と学年清掃を切り替えながら清掃をしてきました。そのことにより、自分の仕事が明確になりにくかったことも要因として考えられます。その中でも職員は、児童が一生懸命働いていると評価しています。ご家庭でも一役を与え、身の回りの整理整頓をする機会をつくっていただけるとありがたいです。
- ⑨ 三者で比較すると、保護者の数値は低い結果となっていますが、経年変化を見ると、数値が高くなってきています。家族の一員としての役割を果たしたときには称賛していくことで、進んで働くことのできる子どもに育っていくと考えています。
- ⑩ 三者とも高い評価となりました。コロナ禍なりの工夫をしながら、保護者の皆様の御協力をいただき、宿泊を伴う行事を始め、遠足や運動会を実施できました。各行事は児童が楽しみにしていることだけでなく、児童が成長する大切な機会でもあります。今後も工夫改善しながら行事を行ってまいります。
- ⑪ 教職員の評価が高くなりました。児童の評価もわずかですが上がりました。マスクをしながらの生活が続く、大きな声であいさつすることを求めることができない日々です。その中でも、企画委員会や小中交流でのあいさつ運動などの機会を設けてきました。あいさつは大人になってからも大切なコミュニケーションの基本です。道徳科、学級活動の時間などでもあいさつの大切さを継続指導していきます。
- ⑫ 児童の評価が高いです。子どもたちは自分達なりに、がんばっていると評価していると思われます。大人から見るとまだまだと感じている結果かもしれません。指導を継続していきます。
- ⑬ 保護者・教職員の評価が下がりました。病気の予防については、ご家庭の協力も得ながら、早めに大事をとっていただくなど対応ありがとうございました。しかし校内での怪我について、教職員としては件数が多かったと感じていると考えます。体育での準備運動や校庭での遊び方など見直していきたいと思えます。
- ⑭ 教職員の評価が昨年よりは上がっていますが、三者で比較すると低くなりました。時折、地域の方から、自転車の乗り方や下校の仕方などについてご連絡をいただくことがあります。学校では「自分の命を守る」ことについて引き続き指導をしていきます。
- ⑮ 教職員の評価は経年少しずつ高くなってきました。食事量や好き嫌いについては、個人差があることを理解しつつ、「一口は食べてみよう」等の働きかけをしています。黙食が続いていますので、落ち着いて時間内に食べることはできている児童が多いです。
- ⑯ 三者ともに評価が高くなりました。全児童対象の教育相談期間以外でも、担任や職員に話をしやすい学校の雰囲気づくりに今後も努めてまいります。「あてはまらない」と回答した児童・保護者がいることを重く受け止め、児童が安心して学校生活を送れるよう職員間の共通理解もより一層図ってまいります。
- ⑰ ⑯同様です。子どもは「認められる」ことで自信をもち、新しいことにチャレンジしたり、粘り強く取り組むことができるようになったりします。自尊感情を大切にさらに育てていけるよう、今後も関わっていききたいと思えます。
- ⑱ 児童の評価が高いです。教職員を信頼し、よく話を聞いていることがわかります。引き続き信頼される教職員となれるよう、努力してまいります。また人としての規範意識の他、「キャリア教育」としても、将来の夢や希望が持てるよう指導していきます。
- ⑲ 児童と保護者はほぼ同じ評価結果となっています。なぜこの項目があるのかを考えたときに、親子のコミュニケーションの大切さや、学校での諸問題の早期発見にもつながることに繋がるのでは、と考えております。引き続き家庭での声かけをお願いいたします。
- ⑳ 保護者の評価が高くなりました。児童にとって居がいのある学級づくり、いじめのない学校を目指していきます。そのためには、小さなことを見逃さず、問題の未然防止や早期対応を学校全体で行っていききたいと思えます。
- ㉑ 保護者の評価が昨年度と変化がありませんでした。小中一貫教育への周知に課題がある結果と捉えております。今年度小中一貫教育の取組である「あいさつ交流」や、「いじめ防止スローガン作成」など、昨年度よりも活動できたことは増えました。今後も、家庭への情報提供とともに国分寺中学校区で目指す子ども像に迫るため、さらに取組を推進してまいります。
- ㉒ ㉑と同様です。1年生の「七夕」や3年生の「生き物調査」など、昨年度できなかった地域の方との活動が実施できました。そのため教職員の評価は高くなりました。地域連携だよりやHPなどを通して、学校と地域連携の様子をより発信してまいります。